

開催日

2022年
12月3日
(土)

開催方法

対面
&
オンライン法政大学
イノベーション・
マネジメント研究センター

地理的表示(GI) と 持続可能な社会

シンポジウム

定員(対面)

先着
100名

時間

13:00
|
16:30

協力

明治大学
知的財産法
政策研究所

EUでは、地理的表示(GI)の活用とSDGsへの貢献の実績が蓄積されており、Farm to Fork戦略でも有機農業と並び地理的表示が重要な地位を占めています。地理的表示は、地方の活性化を目指す農村政策と直接的・間接的に結び付いていることもあり、多様なステークホルダーが協力しあって地域の特徴に応じた地域圏フードシステムの構築の観点からも重要です。日本でも、2015年に農産物・食品の地理的表示保護制度が施行され7年が過ぎ、2022年7月現在、登録産品数は121となっています。

本シンポジウムは、日本においてGI制度の認知度と正しい理解を促進するために、歴史的背景を整理し、これからのGIの在り方と意義を理論的・実務的観点から示すことを目的としています。農林水産省元知財課長(現審議官)をはじめ、国内外のGIの実態に詳しい講演者が、ジャパンGIの特性や機能をわかりやすく解きほぐします。

プログラム

- 13:00-13:05 開会挨拶 近能善範(法政大学イノベーション・マネジメント研究センター所長、経営学部教授)
- 13:05-13:15 解題 木村純子(法政大学経営学部教授)
- 13:15-13:45 【講演1】杉中 淳(農林水産省大臣官房総括審議官): GI法成立に至る経緯
- 13:45-14:15 【講演2】佐藤貴弘(今金町農業協同組合営農部部長): 今金男しゃくGI制度登録等による農業所得の増大について
- 14:15-14:45 【講演3】高倉成男(明治大学名誉教授): 知的財産と地理的表示
- 14:45-15:15 【講演4】木村純子(法政大学経営学部教授): GIとテリトリー
- 15:15-15:25 休憩
- 15:25-16:25 トークセッション
- 16:25-16:30 閉会挨拶 明治大学知的財産法政策研究所代表

申込方法

下記専用サイトよりお申し込みください。
お申し込み時に、対面(会場:法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー26階 スカイホール)とオンライン(YouTube Live)の選択が可能です。配信リンク先は、受付完了メール(自動配信)からご連絡いたします。
申込期限は、対面:11月30日(水)、オンライン:12月3日(土)です。

<https://1203.hosei-kyoiku.jp>

対面会場:法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー26階 スカイホール(開場:12:30)
オンライン:YouTube Live
参加費:無料



法政大学イノベーション・マネジメント研究センター

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL: 03-3264-9420 / E-mail: cbir@adm.hosei.ac.jp / URL: <https://riim.ws.hosei.ac.jp>